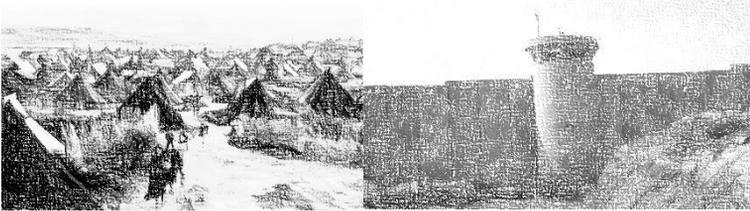


2017年[バルフォア宣言100年、占領50年]に、 パレスチナ／イスラエルの過去と現在を考える



イスラエル国家の強引な建国と長引く占領抜きに、現在の中東での動乱と混迷を考えることは出来ないでしょう。およそ100年、現地住民の〈共存〉を破壊しながら作られた国家体制を視野に入れ、現在なお続く占領の実相を捉えてみたいと思います。

■日時: 2017年7月9日(日)

14:00～(開場13:30) ※終了予定 17:00

■会場: 「ひと・まちプラザ」マルチメディアスタジオ

[アクセス] 「袋町」電停・バス停から徒歩約3分

詳しくは↓

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/kotsu.html>

■講演者:

アヴィ・シュライム

「英国とパレスチナ:バルフォア宣言から現在まで」

("Britain and Palestine: From Balfour to the Present")

ハリール・ナハレ

「個人目線から語る占領:進行する土地支配」

("My Personal Narrative of Occupation: The Ongoing Control of the Land")

参加費:無料
予約不要、どなたでも参加できます。



アヴィ・シュライム氏 アラブ・イスラエル紛争史に関する世界的権威で、オックスフォード大学教授などを歴任。イスラエルの「新しい歴史家」の中心的存在の一人だった。日本語訳された著作に『鉄の壁 イスラエルとアラブ世界』(緑風出版、2013年)がある。



ハリール・ナハレ氏 1943年、パレスチナのアッラーメ村生まれ。インディアナ大学で博士号を取得し、国際機関やパレスチナ教育省、パレスチナのNGOなどでアドバイザーや研究員として勤務。現在もパレスチナの開発・援助に関する批判的論考を発表し続けている。

主催:

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 中東イスラーム研究拠点(人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業)
広島・中東ネットワーク

問い合わせ: 090-3880-9090 / aa_nihu_event@tufs.ac.jp